

# 令和3年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

## I 自己評価

|    |   |  |   |
|----|---|--|---|
| 1  | 学校教育目標  | 「至誠明朗」の校訓を体し、知・徳・体の調和のとれた創造的・人間性豊かな実践力のある地域社会人の育成を図る。  |   |
| 2  | 評価する領域・分野   | 商業専門部  |   |
| 3  | 現状・生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等  | 学習に関する調査では、専門科目に対しての興味、関心が、高い状況にある。現状に甘んじることなく、資格取得の指導及び支援を更に充実させることにより、多項目合格、資格を活かした進路実現に繋げていきたい。   |   |
| 4  | 今年度の具体的かつ明確な重点目標  | (1)確かな学力の定着を図り、高度資格取得へ向けた意欲を高め、合格者数増加を目指す。<br>(2)学校・地域・家庭との繋がりを大切にし、地域協働学習やキャリア教育を進めると共に、達成感や成就感を高め、進路決定の意識向上と実現を図る。<br>(3)広報活動の充実を図り、中学生へのPR活動を推進する。<br>(4)進学クラス生徒の進路実現に向けて職員の共通理解を深める。<br>(5) Seki Shoko Company 運営の充実と、商工連携・地域連携に向けた具体的活動を推進する。   |   |
| 5  | 重点目標を達成するための校内組織体制  | 定期的な商業専門部会議・毎週のコース主任会議・科目担当者会議等その他、情報交換や指導力向上のための各種研修会への参加   |   |
| 6  | 目標達成のための具体的な取組  | 7 達成度の判断・判定基準あるいは指標  |   |
|    | (1)資格取得と基礎・基本科目の修得<br>ア 1年生の全商検定の合格に向けた指導<br>イ 2・3年生の目標検定合格に向けた指導<br>(2)地域との連携<br>ア STEAM教育～未来探究ゼミナール～<br>イ 本町BASE 協働事業<br>ウ 商品開発 (Sweets homare、開化珈琲)<br>エ やまへい農場協働事業<br>オ せきてらすの活用<br>(3)広報活動<br>ア オープンスクール(夏:online・秋:学校)<br>イ 学科パンフレット・HPのリニューアル<br>(4)進学クラス<br>進路実現に向けた職員間の連携を図る。<br>(5) Seki Shoko Company 運営<br>運営・実務面で中心的役割を担う。 | (1)資格取得と基礎・基本科目の修得<br>ア 受験した検定結果分析<br>イ 各自の目標への取組状況と結果分析<br>(2)地域との連携<br>ア 実習の様子と成果<br>イ 取り組み姿勢と販売貢献度<br>ウ 取り組み姿勢と販売貢献度<br>エ 取り組み姿勢と成果<br>オ 取り組み姿勢と成果<br>(3)広報活動<br>夏と秋のオープンスクールの参加状況、本校希望者概数や高校入試における出願者数<br>(4)進学クラス<br>3年生進路希望先の合格状況や模試の結果<br>(5) Seki Shoko Company 運営<br>教員および生徒の取組状況 |   |
| 8  | 取組状況・実践内容等  | 9 評価視点   | 10 評価   |
|    | (1)検定試験等の実施<br>(2)STEAM教育、商品開発等の外部連携実施<br>(3)学科パンフレット・HP リニューアル<br>(4)進学クラスの進路実現<br>(5)オープンスクールの実施  | (1)設定した資格が取得できたか<br>(2)計画・実施・反省と事後変化<br>(3)完成度と配布した中学校の反応<br>(4)目標とした進学を果たせたか<br>(5)参加者数とアンケート結果   | A (B) C D<br>(A) B C D<br>A (B) C D<br>A (B) C D<br>(A) B C D |
| 11 | 成果・課題<br>○検定合格率は概ね良好である。二年続けて税理士試験科目に合格した。<br>○地域協働活動として、地元企業とのSTEAM教育、商品開発等連携できた。<br>○夏のオープンスクールはオンラインとリアルで実施し、HP もリニューアルすることがで、学科の魅力を発信できた。<br>○刃物まつりや、やまへい農場、本町BASE、せきてらすなど地域との連携授業を充実させることができた。<br>●オンライン授業を試行錯誤してきたが、効率の良い授業工夫をさらに研究する。  | 総合評価<br>A (B) C D  |   |
| 12 | 来年度に向けての改善方策案<br>・指導力向上のための研修等、積極的に参加し、次世代を担う教員養成をしていく。<br>・オンライン授業や、リモート講演のためのICT機器の整備と授業工夫を行う。<br>・HPの更新、パンフレットの改良、中学校広報活動を更に見直し、商業科の魅力を発信する。   |  |   |

## II 学校関係者評価

実施年月日 令和4年2月14日

【意見・要望・評価等】  
 ・二度のオープンスクールは素晴らしい成果があったように感じた。生徒たちの明朗な挨拶は、訪れた人を温かく迎えてくれる。・関商工のHPは他校と何が違うのかが分かりません。・限られた中で出来ることを積極的に挑戦することができていた。来年度はさらに、関商工生と地域との交流を期待。